

スピードキュービングジャパン 事業報告書

第1期

2020年 10月12日から 2021年 7月31日まで

2021年10月24日

一般社団法人
スピードキュービングジャパン

代表理事
大村周平



一般社団法人スピードキュービングジャパン 代表理事 大村です。

SCJのはじまりは2019年、WCAからの法人化要請を受けて立ち上がったJRCA法人化準備室でした。
そして一年以上の議論を重ねた後、SCJは2020年10月に誕生し、2021年7月に初の事業年度末を迎えました。

依然として猛威を振るう新型コロナウイルスによる世界的な混乱により、
残念ながら初年度の活動は立ち上げ時に想定していたよりも小規模なものにとどまりましたが、
まずは無事に初年度を終えられたことを喜ばしく思っています。

第1期では法人基盤の確立を第一に活動して参りました。

前身たるJRCAからの移行は果たしたものの、実質的な内情や担当者が大きく変わったわけではなく、
今後多くを受け入れられる器となるために中長期的な視点での制度設計をしている段階です。

この1年、我々の新たなチャレンジをご支援いただく多くの声を耳にし、大変励みになりました。
スピードキュービングを愛するみなさん、大会ボランティアの方々、そして株式会社メガハウス様に
感謝申し上げますとともに、今後ともいっそうのご協力をお願いいたします。

次年度にはさらに多くの力を結集し、活動基盤をより強固なものにしていきたいと考えています。
その第一歩として、まずはSCJの現状を多くの方々に知っていただくため、この事業報告書を作成いたしました。

簡易的な内容ではございますが、ご精読いただければ幸いです。

一般社団法人 スピードキュービングジャパン

2020年10月12日 設立

代表理事	大村周平
理事	荒木慎平
理事	鈴木洋平
理事	上田浩登



社員 11名 (2021年7月31日時点)

SCJの目的は、スピードキュービングの健全な普及と発展です。
そして、その目的を達成するため、次の事業を行います。

- スピードキュービングを通じた、地域及び国際的な貢献と交流に係る事業
- 日本国内におけるWorld Cube Associationの公認する大会の統括事業
- 当法人独自に定める競技規則に基づく大会の統括事業
- その他、当法人の目的を達成するために必要な事業



株式会社 メガハウス

事業報告 WCA大会

新型コロナウイルスの影響により、
第1期の開催実績は Welcome Back Ayase Winter 2020の1件のみでした。

さらに、第2期 2021年8月以降の開催を見据えていた企画を含め、
日本選手権をはじめとする3件を開催中止とせざるを得なかったことは非常に残念でした。

一方で、この表の他にも大会企画公募には複数の問い合わせがありました。

公募企画を広く募集し、それらをSCJが統括することでWCA大会の発展を図る方針は
一定の理解を得られていると捉えています。今後ともご協力をお願いいたします。

事業年度	開催日	大会名	企画主体	実績
第1期 20-21年度	2020年 12月26日	Welcome Back Ayase Winter 2020	SCJ	予定通り開催
	2021年 5月15日	Osaka Spring 2021	公募	開催中止
第2期 21-22年度	2021年 8月28日	Tokai Summer AM/PM 2021	公募	開催中止
	2021年 9月25日	WCA日本選手権 / チャレンジ 2021	SCJ	開催中止

従来は個々のDelegateに属人化していた企画運営の知見を一般化して発展的に継承していくため、事業年度ごとに一貫した方針を定め、これに沿って大会を企画していきます。

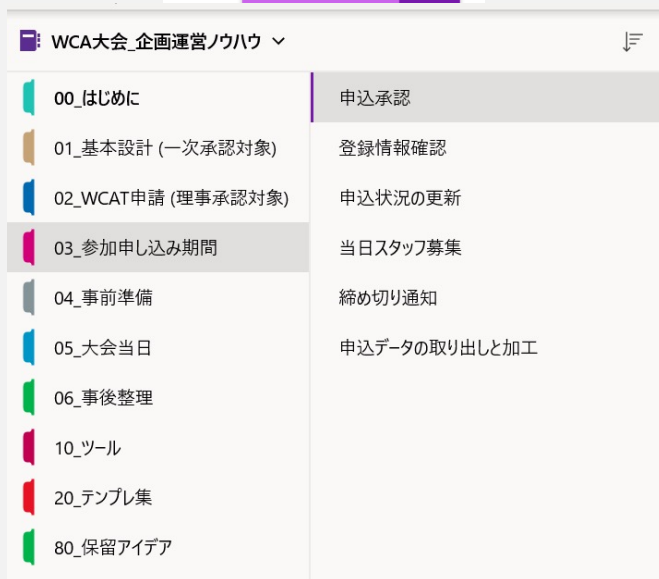
例えば以下のようなものを定めています。

- 大会企画の公募制度
- SCJと実行委員会それぞれの責任所掌の切り分け
- WCA Delegateの移動旅費の分担
- 大会で開催する種目選定の自由度

新型コロナウイルスの影響で実際に大会企画を完遂する機会に恵まれませんでした。今後も開催後の反省を通して随時アップデートを続けていきます。

細かな企画運営ノウハウを継承するため、
様々なツールによるマニュアル化を進めています。

OneNote 運営知見の文書化



Planner タスク管理テンプレート



WCAレポート (英語) SCJレポート(日本語)

反省点を記録し、
他国のDelegateや
実行委員へと共有



日本国内の需要に対してDelegateの総数は非常に不足しており、今後もWCA大会を継続していくためには新たな WCA Delegateの育成が急務と考えています。

応募要件をSCJホームページにて公開しています。
関心のある方はお気軽にご相談ください。

2020-2021年の退任 4名

- 田中悠樹
- 巢瀬雄史
- 鈴木洋平
- 塚本達也

2021年7月31日時点での在任 2名

- 大村周平 (Delegate 兼 日本地域のRegional Delegate)
- 洲鎌星 (Trainee Delegate)

有志の翻訳チームにて、
2021年5月1日verのWCA大会規則に
日本語訳を反映済みです。

ご協力ありがとうございました。

The screenshot shows a GitHub pull request interface for the repository `thewca / wca-regulations-translations`. The pull request is titled "Update Japanese translation to 2021-05-01 #108" and is in the "Merged" state. It was merged by Ivan-Brigidano 23 days ago. The pull request details show that it was created by kotarot on June 26, 2021, and was approved by Ivan-Brigidano on July 9, 2021. The pull request includes a commit titled "Update Japanese translation to 2021-05-01" which is marked as "Verified". The pull request also includes a comment from kotarot stating: "We have translated Japanese version to 2021-05-01 ! Our internal review process: kotarot#66". The pull request is linked to issue kotarot#66. The right sidebar shows the "Reviewers" section with Ivan-Brigidano as the reviewer, and the "Assignees" section with no one assigned. The "Labels" section shows no labels, and the "Projects" section shows no projects. The "Milestone" section shows no milestone. The "Linked issues" section shows a message: "Successfully merging this pull request may close these issues."

thewca / wca-regulations-translations

Update Japanese translation to 2021-05-01 #108

Merged Ivan-Brigidano merged 1 commit into thewca:main from kotarot:japanese-2021-05-01 23 days ago

Conversation 0 Commits 1 Checks 1 Files changed 3 +47 -46

kotarot commented on 26 Jun

We have translated Japanese version to 2021-05-01 !

Our internal review process: kotarot#66

Update Japanese translation to 2021-05-01 Verified 0b275d8

kotarot requested a review from thewca/wrc-team as a code owner on 26 Jun

Ivan-Brigidano approved these changes on 9 Jul View changes

Ivan-Brigidano merged commit d8149fa into thewca:main 23 days ago View details 1 check passed

Reviewers Ivan-Brigidano

Assignees No one assigned

Labels None yet

Projects None yet

Milestone No milestone

Linked issues Successfully merging this pull request may close these issues.

事業報告 SCJ大会

SCJ大会について

SCJ大会の狙いは
幅広い競技者層のニーズに応える競技大会を開催し、スピードキュービングの普及と発展を図ることです。

今期、来期はまだ準備期間という位置付けですが
大会を開催しつつ柔軟に制度を固めていきたいと考えています。

従来のWCA大会とは差別化要素として、地域在住/在勤、または年齢を用いた区別など、
各コミュニティの実情に応じた属性による参加資格限定を取り入れた大会を開催していきます。



SCJ大会 企画実績

東海スピードキュービングコミュニティ (TSC) 主催のSCJ大会を3件企画し、うち2件を実施しました。

- のべ参加人数は24名でした。
- 地域制限をすることにより、地域の人にも大会に参加できる機会が増えました。
- またコロナ禍において地域をまたいだ移動自粛に適した運用ができました。
- 来期以降は他の地域でも大会開催を目指していきます。

事業年度	開催日	大会名	実績
第1期 20-21年度	2020年 12月 12日	TSC 12月記録会	予定通り開催
	2021年 4月17日	TSC 4月記録会	予定通り開催
	2021年 6月6日	TSC 6月記録会	開催中止
21-22年度	2021年 8月7日	TSC 8月記録会	予定通り開催

事業報告 コミュニティ

スピードキュービングの普及と発展に資する各地団体の活動のため、ノウハウの共有や資金援助などの活動を行いました。

また、SCJホームページにおいて、各地域スピードキュービング団体のイベントを宣伝するサービスを開始しましたが、実際の利用は少数にとどまりました。

新型コロナウイルスによる日本全体的なイベント自粛解消後の需要を見込み、今後も継続して運用を続けます。



スピードキュービング北陸による
金沢子ども科学財団でのキューブ教室の様子

事業報告 事務局

標準文字「スピードキュービングジャパン」とSCJシンボルマーク画像の2点についてSCJ設立時に申請し、第2期 2021年8月に受理されました。

特にシンボルマークについては、今後様々なグッズへの展開を予定しています。

出願番号/ 登録番号/ 国際登録番号 ▲	商標見本	商標 (検索用)	称呼 基準 ▲	称呼 (参考情報)	区分	出願人/ 権利者/ 名義人	出願日/ 国際登録日 ▲ (事後指定日)	登録日 ▲	ステータス ▲
登録6422852 (商願2020-146428)		スピードキュー ビングジャパン	-	スピードキュー ビングジャパ ン、スピードキ ュービング	41	一般社団法 人スピード キュービン グジャパン	2020/11/27	2021/07/30	 存続-登録-異議申立のための公 告
登録6425817 (商願2020-146433)		-	-	-	16 25 41	一般社団法 人スピード キュービン グジャパン	2020/11/27	2021/08/06	 存続-登録-異議申立のための公 告

社章ピンバッジ

SCJ関係者の証明として利用します。



腕章や横幕

会場装飾やスタッフ識別のため、
SCJが関わるイベントで使われます。



利用中のサービス



1Password



Outlook



OneDrive



Word



Excel



PowerPoint



OneNote



SharePoint



Microsoft Teams



スピードキュービングの大会やイベントを個別に扱えるポータルページを作成しました。

WCA大会/SCJ大会の両方に対応する今後のスタンダードとして運用します。

以降、WCAウェブサイトにおける大会ページ内での参加受付は行わない予定です。

 **TSC8月記録会**

基本情報

結果

基本情報

種別

SCJ大会

日付

2021年08月07日 (土曜日)

[Google Calendarに追加](#)

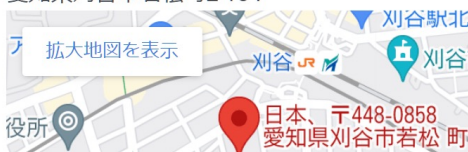
会場

刈谷市中央生涯学習センター 402研修室

会場住所

愛知県刈谷市若松町2-104

[拡大地図を表示](#)



その他

申し込み日時

2021年06月12日 00:00 - 2021年08月03日 23:59

お知らせ

SCJ大会です。
SCJ大会は、SCJの公認するスピードキュービングの大会です。
記録はSCJホームページに掲載されます。

参加要件

東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)に在住の方のみ参加できます。

SCJ 審判員

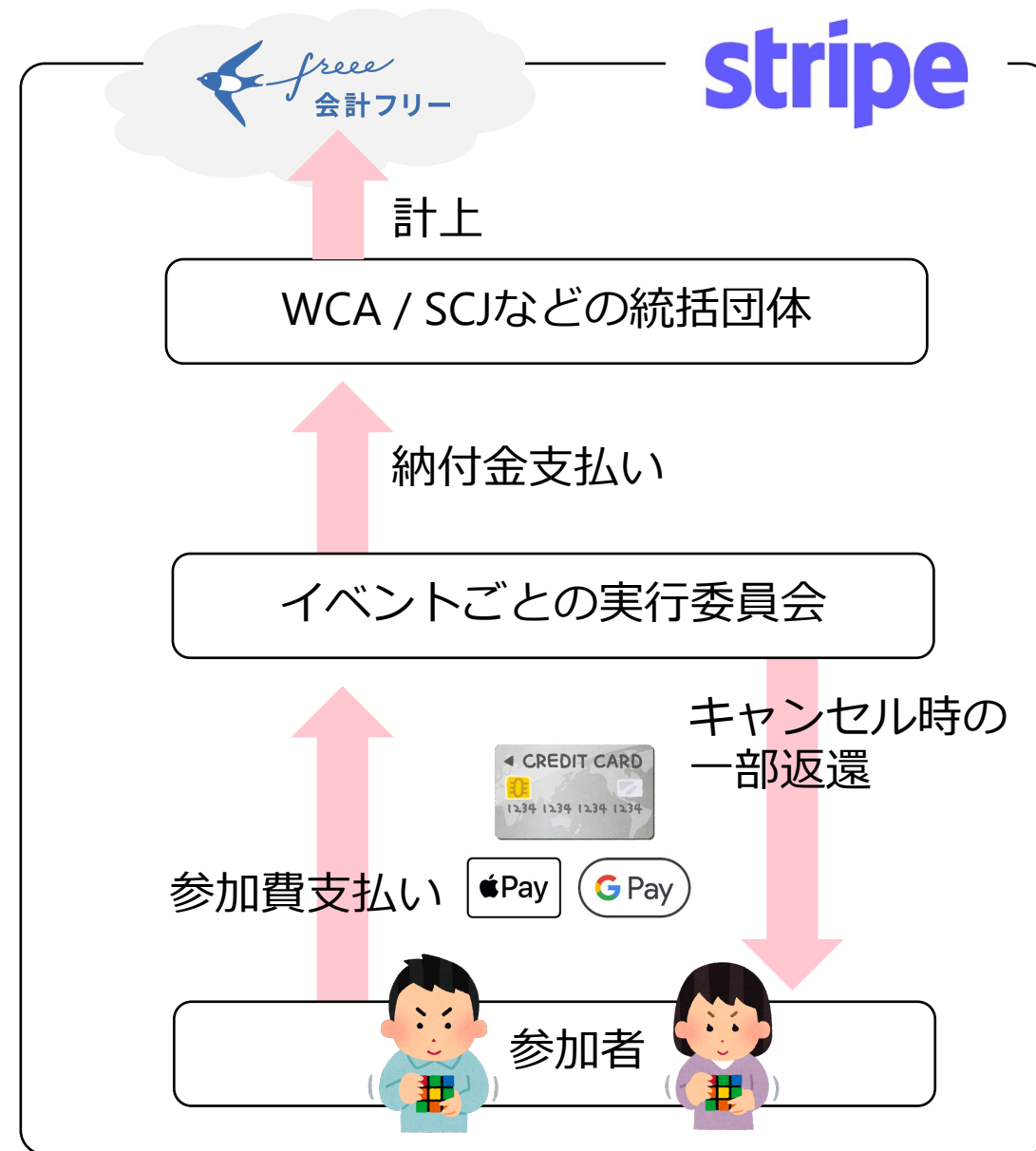
荒木 慎平

キャッシュレス決済システム実装

以下のような目的をねらい、

Stripeプラットフォームを採用した
キャッシュレス決済システムを実装しました。

- 当日受付にかかる時間を短縮し、
イベントに割く割合を増やす
- 会場における3密の回避
- 金銭トラブルリスクの低減
- イベント参加キャンセル料金の導入による
適切な大会参加需給バランス調整



決算概要説明

貸借対照表の概要

資産 約400万円の多くは JRCA の預金残高を SCJへと継承したものです。

第1期の赤字 約31万円 (詳細は次ページ)を踏まえ、財産合計は397万1320円となりました。

SCJは非営利徹底型の一般社団法人であり、第 1 期は営利活動を行わなかったため国税は非課税となりますが、市民税と県民税については均等割に相当する52,500円が課税されます。

貸借対照表の要旨

2021年7月31日現在
単位：円

科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	3,971,320	未払金	4,052,035
		未払法人税等	52,500
		前受金	176,000
		負債合計	4,280,535
		正味財産合計	-309,215
資産合計	3,971,320	負債・正味財産合計	3,971,320

第1期 経常収益のほとんどはスポンサーの株式会社メガハウス様にご支援いただいたものです。

経常費用のうち、多くを占めたのは以下の2点です。

- ・ 法人化手続きに関連する備品購入や事務手数料 (約50万円)
- ・ 利用する各種サービスなどのランニングコスト (約22万円/年)

また、第1期の税理士顧問料 約20万円は来期の計上となるため、本表に含まれておりません。

正味財産増減計算書の要旨

自 2020年10月12日 至 2021年7月31日

単位：円

科目	金額	科目	金額
経常収益	669,541	税引前当期一般正味財産増減額	-256,715
経常費用	926,265	法人税、住民税及び事業税	52,500
当期経常増減額	-256,724	当期一般正味財産増減額	-309,215
経常外収益	9	一般正味財産期末残高	-309,215
経常外費用	0		
当期経常外増減額	9		
		正味財産期末残高	-309,215